

保存版 緊急連絡先

●救急電話相談 #7119

→音声案内 小児救急は「1」を押す
大人の救急は「2」を押す
医療機関案内は「3」を押す

●防災無線の自動音声案内 0120-899-300

※安心安全メールのご登録をお勧めします
<http://www.city.kasukabe.lg.jp/mobile/m-service.html>

●児童虐待 ☎189

※虐待かと思ったら「いち・はや・く」
児童相談所 全国共通 ダイヤル

議会で提案し実現できたものです

- ☆電子図書館・開設:平成14年3月に取り上げました
- ☆こども未来部・新設:平成16年12月に取り上げました

公明党では無料の法律相談を行っております
お申し込み・ご相談・ご要望は

くりばら まで
:090-3476-6526



希望が、ゆきわたる国へ。公明党

春日部市議会議員くりばら信司

くりばら通信



旧年中は、公明党に対しまして温かなご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご支援により、「健康づくり推進条例の制定」「ひとり親家庭等医療費における窓口払いの廃止」「富士見町地下道にエレベーターの設置、決定」など多くの実績を残すことが出来ました。今年はさらに真剣に、市民目線に立ち、皆様の声をしっかりと受け止め、結果を残せるよう全力で働いて参ります。

本年が、皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、御祈念申し上げます。

平成29年12月定例議会一般質問で取り上げた内容です

問 MTBI（軽度外傷性脳損傷）対策

MTBIとは、交通事故などで脳に衝撃が加わり、脳損傷が起こることがあります。WHOの定義としては、30分以内の意識喪失、24時間未満の外傷後健忘症を示す脳損傷をMTBIとしています。わかりづらいことから周囲に理解されず、その結果、対応が遅れて重症になる場合もあります。そこで市民の健康を守る観点からMTBIに関する普及啓発活動を行うべきと訴えました。

答

社会的な理解が高まることで、早期の受診と治療に繋がり、周囲からの理解や支援も得られやすくなることから、広報かすかべ、公式ホームページに通年掲載するなど周知啓発を行っていきます。

問 期日前投票の見直しで投票率の向上

期日前投票は回を重ねる度に利用者が増えております。反面利用者からは、案内表示や、投票所などに不満の声もあがっております。鶴ヶ島市のように移動型のシステムや通勤通学者の利便性の向上のために駅ナカを利用した投票システムの導入を図るべきでは、と訴えました。

答

今回の教訓を活かし、職員の配置やレイアウトの見直しをします。移動型のシステムや駅ナカでの期日前投票は課題も多く現段階では実施は困難です。今後、全ての投票所で誰もが安心して投票ができる環境整備に努めてまいります。

問 文化芸術振興策について

今年6月、「文化芸術基本法」が全会一致で可決されました。これをうけて市として、バリアフリー対策、予算の確保、人材登用など市民の立場、環境などに影響されずに文化芸術に親しめる体制づくりが必要ではないかと、訴えました。

答

公民館や図書館をはじめ、身近な施設で各種のイベントを開催しています。今後も年齢や障がいの有無に関わらず、身近に文化芸術に親しめるように各種事業の充実を図って参ります。

問 公共事業の発注で市内業者の育成を

市が発注する事業の財源は市民からの税金が投入されるので適正な価格で契約をするのは当然ではありますが、市内業者への発注は市内の雇用促進や今以上の賑わいのある魅力的なまちづくりに繋がるものでもあります。都市部へ仕事を求めて転出する若者達を市内に食い止める手段にもなります。市の発注を通して市内事業者の育成を図るべきと、訴えました。

答

市としては特別なものを除き、市内業者の受注機会の確保に努めています。受注しやすい仕組みとして前金払制度や中間前金払制度の上限額引き上げを行い、大規模工事受注時の資金繰り改善を行うなど、今後も市内業者の育成に努めて参ります。